

高い結球安定性と肥大性を備えた早春どり早生種

産地限定品種

WN-LL728

PVP 農林水産省種苗登録 出願 第32225号 (出願名 LL-1014)

暖かく湿度の高い冬が当たり前ようになっていきます。2020早春どりの茨城県西地区のレタスは、育苗～収穫までべと病の多発に苦しみ、温暖な条件下で結球が不安定になりがちでした。弊社の新品種「WN-LL728」は、べと病によく耐え、安定した結球性と肥大性で同地区の早春どりレタスとして生産者にメリットを提供できる品種です。2020年の同地区における試作結果をレポートします。



レタス

「WN-LL728」の2020年早春どり試験で頂いた評価のポイント

①結球性の高さ

温度に鈍感で、暖かい冬でも安心

「WN-LL728」は安定した結球性を評価されました。暖かい冬でも、「WN-LL728」は温度に左右されにくい高い結球性を生かし、出荷の安定に貢献できます。

②肥大性の高さ

葉肉が厚く、重量が乗る

安定した結球性に加えて、「WN-LL728」は安定した肥大性も評価されています。葉肉が厚く、重量が早くから乗りますので、早期出荷を狙いやすくなります。

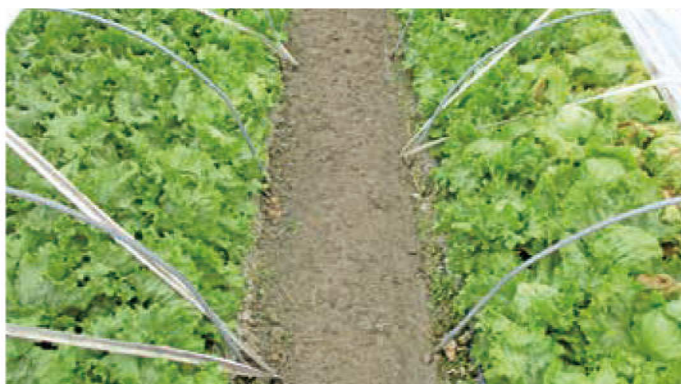
③べと病によく耐える

2020年もよく耐えました

2020年早春は、例年と異なりこの時期の風が弱く、湿度が下がりにくかったことに加え、もともとトンネルによって湿度が上がりやすい条件下ということもあり、べと病リスクの高い年でしたが、「WN-LL728」はべと病にもよく耐えました。様々な防除体系を駆使して頂きながらではありますが、圃場歩留まりの向上に貢献できると考えています。



「WN-LL728」 対象品種
10月22日播種、2月15日収穫
茨城県坂東市長須地区



「WN-LL728」 対象品種
10月29日播種、3月4日撮影
茨城県坂東市長須地区

PVP このマークは種苗法の登録品種を表示するマークです。このマークの付いている種苗を、育成者の許諾なく業として利用（増殖、譲渡、輸入など）する行為は、損害賠償、刑事罰の対象となる場合があります。

2021年早春どりでも引き続き試験を行っていきます。詳しくは弊社営業部まで！